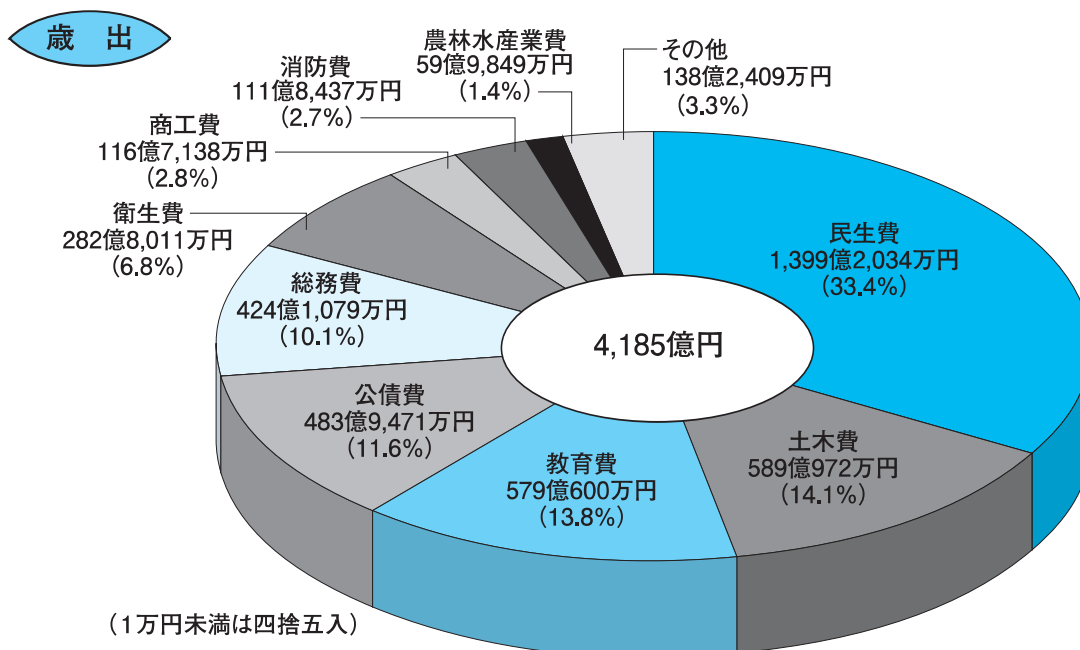
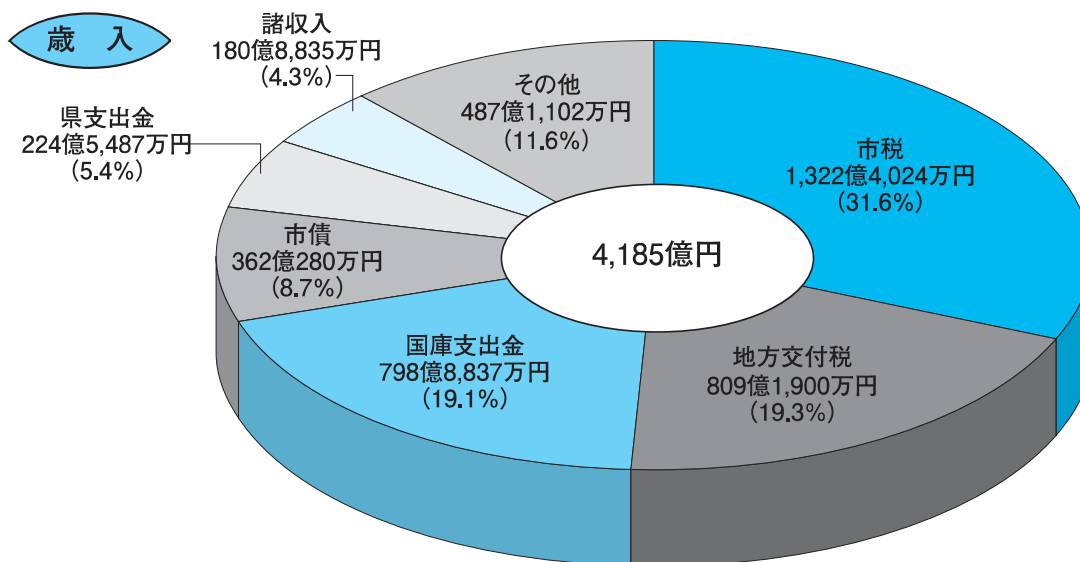


第1章 新潟市の予算

1 一般会計予算のあらまし

令和6年度予算のうち、皆さんの生活に最も関係の深い一般会計当初予算額は、4,185億円ですが、このうち市税による収入は、1,322億4,024万円と全体の31.6%を占めています。



54万5,231円

令和6年度一般会計当初予算額を市民1人あたりに換算すると、この金額になります。

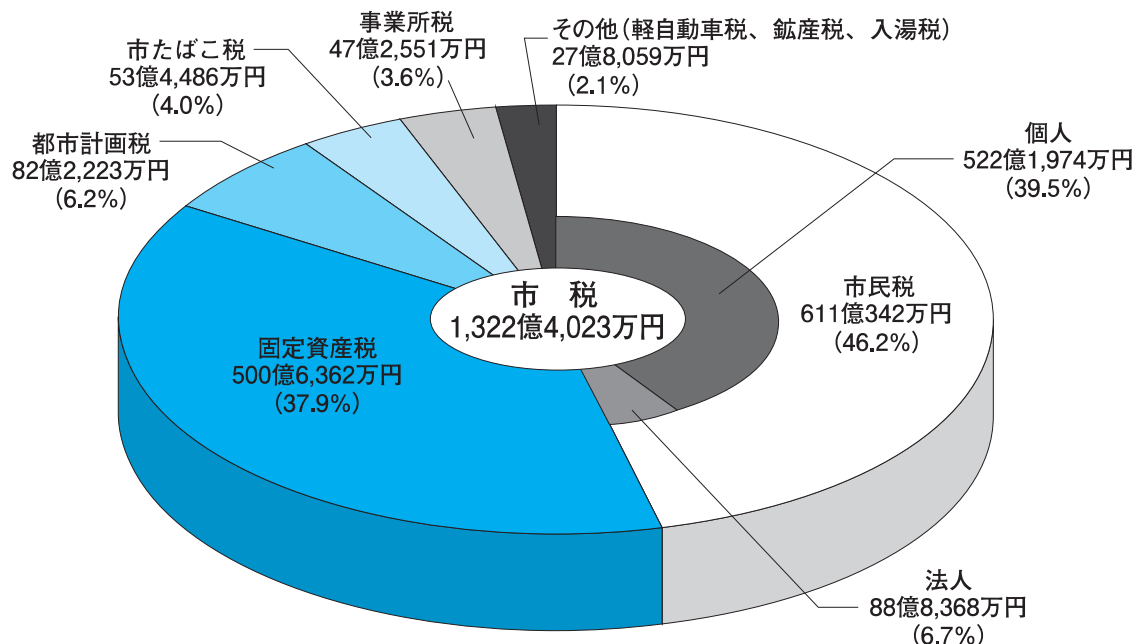
17万2,285円

市民の皆さんに納めていただく市税の額を市民1人あたりに換算すると、この金額になります。

$$\left(\frac{\text{令和6年度一般会計当初予算} \cdot \text{令和6年度市税予算額}}{\text{令和6年1月1日現在の人口767,565人}} \right)$$

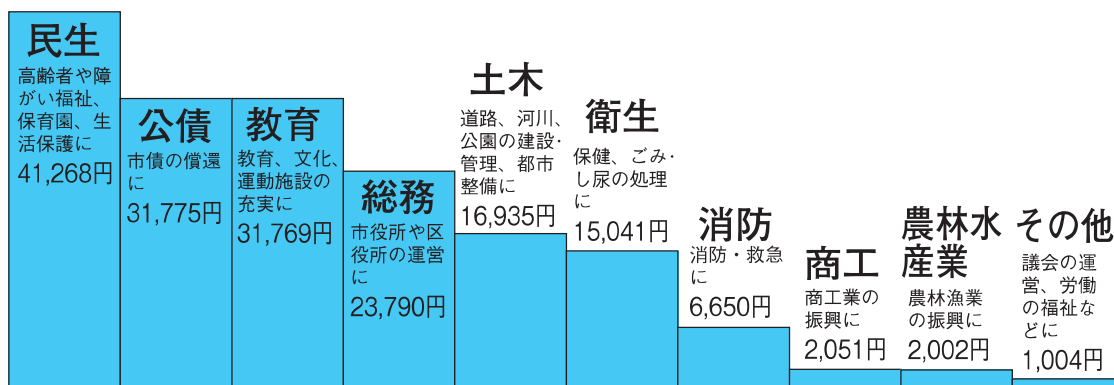
2 市税収入の内訳

市税の令和6年度当初予算額の内訳をみてみますと、市民の皆さんにとって最も身近な市民税が611億342万円、固定資産税が500億6,362万円で、この2税で市税の84.1%を占め、市税収入の中心となっています。



3 市税の使いみち(市税17万2,285円のゆくえ)

皆さんに納めていただく市税は、どんなところにどのくらい使われているのでしょうか。市民一人あたりの市税の額を17万2,285円としたときの、令和6年度予算における使いみちとその内容は次のとおりです。



¥172,285

※ 令和6年度の歳出当初予算に占める一般財源の割合により配分してあるため、前ページの歳出のグラフとは割合が異なります。